

| | | |
|---|---|--|
| ①上位の政策名 | 政策目標7 スポーツの振興 | |
| ②施策名 | 施策目標7-3 学校体育の充実 | |
| ③主管課 及び関係課 (課長名) | (主管課) スポーツ・青少年局企画・体育課 (課長: 石野 利和) | |
| <p>④基本目標 及び達成目標</p> <p>ア= 想定した以上に達成 イ= 想定どおり達成 ウ= 一定の成果が上が っているが、一部 については想定ど おり達成できなか った。 エ= 想定どおりには達 成できなかった。</p> <p>ア= 想定した以上に順 調に進捗 イ= 概ね順調に進捗 ウ= 進捗にやや遅れが 見られる エ= 想定したどおりに は進捗していない</p> | <p>基本目標7-3 (基準年度: 13年度 達成年度: 22年度) 児童生徒の健やかな心と体をはぐくみ、生涯にわたってスポーツに親 しむ資質能力を育てるため、学校体育の充実を図る。</p> <p>【達成度合い(進捗状況)の判断基準】 ア=以下の達成目標の進捗状況が、当初想定していた水準を大幅に上 回っている。具体的には、各達成目標全てにおいて、当初想定し ていた基準を上回る達成(進捗)状況。 イ=以下の達成目標の進捗状況が、当初予定していた水準で概ね順調 に進捗している。具体的には、各達成目標において、当初想定し た基準を上回る達成状況もしくは想定どおりの達成(進捗)状況。 ウ=以下の達成目標の進捗状況が、一部について当初想定していた水 準を下回っている。具体的には、各達成目標において、一部想定 どおりに達成できていないもの又は進捗にやや遅れが見られるも のがある。 エ=以下の達成目標の進捗状況が、当初想定していた水準を大幅に下 回っている。具体的には、各達成目標において、想定どおり達成 できていないもの又は進捗していないものがある。</p> <p>達成目標7-3-1 (基準年度: 17年度 達成年度: 22年度) 学校における体育の授業の質の向上を図るため、学校体育担当教員に 対する指導力向上のための研修を推進する。</p> <p>【達成度合い(進捗状況)の判断基準】 学校体育指導者中央講習会の受講者(教員)が当該研修を有意義と答 えた割合 ア=95%以上 イ=90%以上 ウ=85%以上 エ=85%未満</p> <p>達成目標7-3-2 (基準年度: 15年度 達成年度: 22年度) 学校体育を充実させる基盤として、学校プールや武道場など学校体育 施設の整備を推進する。</p> <p>【達成度合い(進捗状況)の判断基準】 プール及び武道場の整備率 ア=過去五年間の整備率の推移が0.3%以上増加している イ=過去五年間の整備率の推移が0.3%未満増加している。 ウ=過去五年間の整備率の推移が現状維持か、0.3%未満減少し ている。 エ=過去五年間の整備率の推移が0.3%以上減少している</p> <p>達成目標7-3-3 (再掲) (基準年度: 15年度 達成年度: 22年度) 地域のスポーツ指導者を体育の授業や運動部活動に積極的に活用する 取組を推進する。</p> <p>【達成度合い(進捗状況)の判断基準】 各学校における地域のスポーツ指導者の活用人数 等 ア=5年前より1,000人以上増加している。 イ=5年前より1,000人未満増加している。 ウ=5年前から1,000人未満減少している。 エ=5年前より1,000人以上減少している。</p> <p>達成目標7-3-4 (再掲) (基準年度: 15年度 達成年度: 22年度) 複数の学校でチームを編成する複数校合同運動部活動など他の学校や 地域との連携等、中学校や高等学校において、運動部活動を活性化す る取組を推進する。</p> <p>【達成度合い(進捗状況)の判断基準】 中学生の運動部活動への参加率 ア=前年度より増加している。</p> | <p>達成度合い又は 進捗状況</p> <p>想定どおり達成</p> <p>想定した以上に達成</p> <p>想定どおりに達成</p> <p>想定どおりに達成</p> <p>想定どおり達成</p> |

| | | |
|--|--|--|
| | <p>イ＝現状を維持している。 ウ＝前年度より5%未満減少している。 エ＝前年度より5%以上減少している。</p> <p>高校生の運動部活動への参加率 ア＝前年度より5%以上に増加している。 イ＝前年度より5%未満増加している。 ウ＝現状を維持している。 エ＝前年度より減少している。</p> | |
|--|--|--|

| | | |
|---------------|---|---|
| ⑤ 現状の分析と今後の課題 | 各達成目標の達成度合い又は進捗状況（達成年度が到来した達成目標については総括） | <p>達成目標7-3-1 【平成17年度の達成度合い】 平成17年度の学校体育指導者中央講習会の受講者に対するアンケートによると、研修内容が有意義であると答えた受講者は98.8%であったため、想定した以上に達成と判断。</p> <p>達成目標7-3-2 【平成17年度の達成度合い】 学校プール及び武道場の整備率は、過去5年間の整備率の推移をみると0.1%程度増加で推移しており、想定どおりに達成と判断。</p> <p>達成目標7-3-3 【平成17年度の達成度合い】 体育の授業や運動部活動における外部指導者の活用状況は、増加しており、想定どおりに達成と判断。</p> <p>達成目標7-3-4 【平成17年度の達成度合い】 運動部活動の参加率の推移を見ると、中学生は高い参加率を維持しており、高校生も年々増加傾向にあり、想定どおりに達成と判断。</p> |
| | 施策目標（基本目標）の達成度合い又は進捗状況 | <p>【平成17年度の達成度合い】 平成17年度においては、各達成目標の達成度合いを見ると、教員の指導力向上のための研修については、充実が図られ、学校体育施設の整備状況も想定どおり達成できた。また、体育の授業や運動部活動において地域の外部指導者の活用状況が増加しており、想定どおり達成できていること、部活動への参加率について見ると、中学生が高い水準を維持し、高校生も増加傾向にあることから、想定どおり達成できている。 以上より、基本目標としては、想定した通りに達成できたと判断。</p> |
| | 今後の課題（達成目標等の追加・修正及びその理由を含む） | <p>達成目標7-3-1 子どもの体力の向上の実現は、喫緊の課題であり、教科体育・保健体育にとどまらず、学校教育活動全体で体力向上の取組ができるよう指導者を養成する必要がある、その観点からも、さらなる研修内容の充実を図る。</p> <p>達成目標7-3-2 高校のプール、中学校の武道場については、他の校種と比較して整備率が低いため、引き続きこれらの施設整備を推進していく必要がある。</p> <p>達成目標7-3-3 地域のスポーツ指導者を学校において活用することについて関係者に不安があったり、理解が不十分であったりすること、地域によってはスポーツ指導者を派遣するシステムが整備されていないこと、スポーツ指導者が安心して協力できる条件が整備されていないこと等から、地域のスポーツ指導者の協力を十分に得ているとは言えず、引き続き調査研究を実施する必要がある。</p> <p>達成目標7-3-4 運動部活動を活性化するため、複数校合同運動部や地域スポーツクラブとの連携だけでなく、総合運動部など新しい部活動の取組も一層推進していく必要がある。</p> |
| | 評価結果の18年度以降の政策への反映方針 | <p>達成目標7-3-1 達成目標に向けて想定した以上に達成しているところであり、今後とも教員の指導力向上のための研修を充実させていく。</p> <p>達成目標7-3-2 学校体育施設の整備については、全国の事業量を勘案しながら、所要の予算確保に努め、学校体育の基盤となる学校体育施設の整備を推進する。</p> <p>達成目標7-3-3 引き続き、外部指導者の発掘・養成・活用に関する調査研究を実施していく。</p> <p>達成目標7-3-4 運動部への参加率を向上させるため、気軽に運動部に所属できるよう柔軟な運営ができるようにする必要がある。</p> |

| | | | | | | |
|------|---------------------------------|----|----|----|------|------|
| ⑥ 指標 | 指標名 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| | 学校体育指導者中央講習会の受講者アンケートにおける有意義回答率 | - | - | - | 97.8 | 98.8 |

| | | | | | | |
|--|---|--|------|-------------------------------------|---|------------|
| | (達成目標 7-3-1 関係) | | | | | |
| | 学校体育指導者中央講習会の受講者数/受講定員 (達成目標 7-3-1 関係) | | | | 1,065 1,200 | 935 555 |
| | 学校プールの整備率(%) (達成目標 7-3-2 関係) | 74.2 | 74.2 | 74.3 | 74.5 | 74.6 |
| | 学校の武道場の整備率(%) (達成目標 7-3-2 関係) | 68.3 | 68.4 | 68.7 | 69.1 | 69.3 |
| | 学校の体育の授業や運動部活動に対する地域のスポーツ指導者の活用状況(人) (達成目標 7-3-3 関係) | 25,282 (H12) | — | — | — | 34,430 |
| | 中学生の運動部活動への参加率(%) (達成目標 7-3-4 関係) | 67 | 67 | 67 | 67 | 67 |
| | 高校生の運動部活動への参加率(%) (達成目標 7-3-4 関係) | 35 | 36 | 37 | 39 | 40 |
| 参考指標 | 学校の体育の授業を好きと答えた割合(小学生)(%) (平成16年度調査のみ) | — | — | — | 80.8 | — |
| | 学校の体育の授業を好きと答えた割合(中学生)(%) (平成16年度調査のみ) | — | — | — | 63.9 | — |
| ⑦評価に用いたデータ・資料・外部評価等の状況 | 達成目標 7-3-1 学校体育指導者中央講習会の受講者アンケート 達成目標 7-3-2 水泳プール、武道場設置率の推移調査(企画・体育課調べ) 達成目標 7-3-3 外部指導者の活用状況に関する調査(企画・体育課調べ) 達成目標 7-3-4 (財)日本中学校体育連盟による運動部活動実態調査 (財)全国高等学校体育連盟による運動部活動実態調査 | | | | | |
| ⑧主な政策手段 (過去に新規・拡充事業評価を実施し、平成18年度に達成年度が到来する事業については総括) | 政策手段の名称 (上位達成目標 [17年度予算額]) | 政策手段の概要 | | | 17年度の実績 (得られた効果、効率性、有効性等) | |
| | 学校体育指導者中央講習会 (達成目標 7-3-1) | 体育授業において児童生徒が自ら積極的に運動に親しみ、体力を高めるため、体ほぐしの運動の趣旨を踏まえた指導、体を動かす意識を持たせる学習指導等について、必要な知識技術等の習得を図る。 | | | 当該研修の受講者(教員)は、935名であるが、その受講者が各地域において当該研修内容を踏まえた研修の講師等として活動し、各学校へ指導助言等を行うことのできる資質や能力の向上が図られる。また、受講者が各地域で研修講師として活動することで、その効果は全国に普及することができる。 | |
| | 学校体育施設整備事業 (達成目標 7-3-2) 【4,120百万円】 | 市町村・都道府県が設置するプール、武道場等の整備に要する経費の一部の補助を行う。 | | | 平成17年度においては、当該事業により水泳プール175箇所、屋外運動場照明施設38箇所、クラブハウス5箇所、武道場57箇所の施設整備を行い、学校体育施設の充実が推進された。 | |
| | 運動部活動地域連携実践事業 (達成目標 7-3-3) (達成目標 7-3-4) 【66百万円】 | 単独の学校の枠を超えた複数校合同による運動部活動の推進や地域スポーツクラブとの連携に関する実践的な研究を行うことにより、運動部活動の活性化を図る。 | | | 各地域において、地域の特性に応じた取組が推進された。 | |
| 運動部活動等における外部指導者の発掘・養成・活用に関する調査研究 (達成目標 7-3-3) (達成目標 7-3-4) 【100百万円】 | 運動部活動等における外部指導者の発掘・養成・活用に関する具体的な方策に係る調査研究を行うことにより、都道府県教育委員会が実施する運動部活動等における外部指導者の配置事業の質的向上を図る。 | | | 運動部活動だけでなく体育の授業においても外部指導者の活用が推進された。 | | |
| ⑨備考 | | | | | | |
| ⑩政策評価担当部局の所見 | ※7-3-1について、全国の学校体育担当教員の資質が向上したかの観点からの効果を把握するための指標を設定することを検討すべき | | | | | |

施策目標7-3 学校体育の充実 平成17年度実績評価の結果の概要

